



議会だより

つなんまち

6月定例議会 (6/12~6/14)

補正予算・決まったこと P2
12名が一般質問 P6
4年間を振り返って P12
シリーズ 私も一言 P16

No.168

2007年7月18日

発行：新潟県津南町議会

責任者：議長 高橋 満男

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

19年度

特別会計補正予算

下水道事業特別会計
330万円

委託料（下水道台帳作成委託料）、補償補填及び賠償金（水道管移設補償料）増による。

簡易水道特別会計
1,200万円

下水道事業工事に伴い、卯ノ木水道本管布設替、津南原水道本管布設替工事増など。

老人保健特別会計
4,459万8,000円

平成18年の精算に伴う国県負担金の返還など。

津南町議会委員会条例の一部改正

19年10月議会議員改選に伴い定数2名削減により、1常任委員会の定数を9名から8名に改めました。

津南町税条例の一部改正

住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税減額措置が創設され、その手続きが規定されました。平成19年4月1日から平成22年3月31日までにバリアフリー改修が行われた住宅について、翌年度分の税額が100㎡までを限度に3分の1減額されます。

電算処理委託

オスポックから(株)電算へ

一般会計補正予算

補正総額
4,732万円

電算処理委託費の見直しによりオスポックから長野市にある(株)電算に25年までに移行することとし、そのサーバー室修繕、データ移行料3,300万円。

第4回大地の芸術祭は総額6億5,000万円。市町負担1億円の負担割合は十日町市が88%、津南町が12%で今年度負担分471万2,000円など総額4,732万円補正しました。



2006大地の芸術祭 ドラゴン美術館

下水道事業管渠布設工事入札

津南原幹線管渠布設工事(第2工区、グリーンピア地内)の指名競争入札が6月8日に行われ、951万9,250円で落札。落札率は96%でした。指名業者は津南町5社、十日町市4社。本工事で管渠布設工事はおおむね終了します。



下島浄化センター工事

平成18年度 津南町病院決算を認定

診療報酬の引き下げが大きく影響

事業費用は、前年度決算比0.05%減の19億4,988万8千円、医業外費用が24.59%減の1,527万3千円、介護保険費用が3.98%増の63万1千円となり、費用全体で0.24%減

事業費用

事業収益は診療報酬改訂の影響を大きく受け、前年度決算比5.94%減の16億5,969万7千円、医業外収益は運営費補助に依存し12.2%増の2億2,562万4千円、介護保険収益が13.3%増の99万1千円であり、収益全体では4.07%減の18億8,631万3千円となりました。

事業収益

地域医療は生活習慣病の予防と治療が大きなウエートを占め、内科的治療はもとより、整形外科的治療の充実が求められています。18年度は外科医を常勤医として迎え、6名の医師と非常勤医師により各科の体制整備がなされました。

収支決算

の19億6,690万3千円となりました。
経常損益で8,058万9千円の赤字決算となり、過年度損益を加算すると8,071万3千円の純損失となりました。

資本的収支

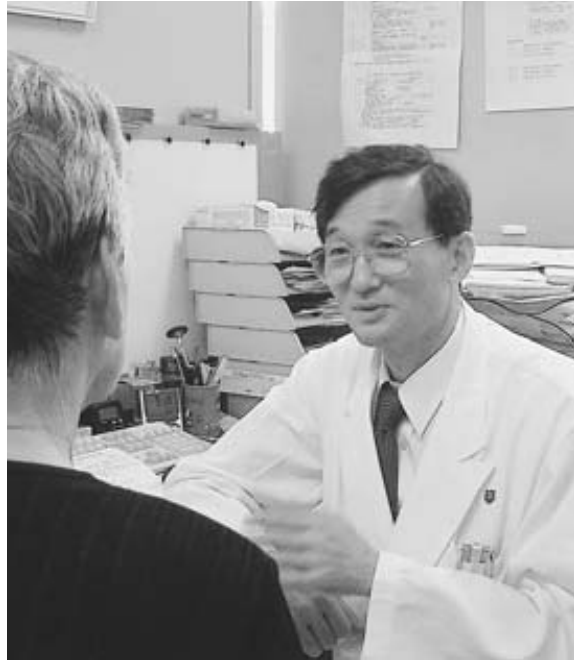
効率・効果的な医療を進めるための医療機器、備品並びに医師送迎車を整備したほか、耐用年数の経過した暖房用ボイラーの改修を行いました。

患者の動向

近年減少傾向にあり、入院で前年比1.1%減の33,020人、外来では5.2%減の75,530人になりました。入院では療養病床の利用率は増えたが、一般病床の入院が減少し、全体的に入院患者数が減少しました。外来では薬の長期投与による再来患者数の減少が見られました。

今後の課題

町民の健康維持・増進を目標に予防医学の取り組みを継続し、生活習慣病対策の充実、往診、訪問看護を実施し、経営の健全化に一層の努力が必要となります。



不安なことは何でも聞いて下さい

請願・陳情・意見書

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める陳情

陳情者 新潟県教職員組合十日町市中魚沼郡支部
執行委員長 鈴木 広
採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣

意見書要旨

知識を教え込む一斉的、画一的な教育から、個性を大切に、ともに学ぶ教育へと転換が必要である。それには学級規模を30人以下に縮小し、学びに応じたきめ細かな教育が可能になる教職員の配置が必要である。また、教育の全国水準の維持向上や機会均等を確保するために、地方への多大な負担を課すことなく義務教育の基礎を作ることは国の義務である。豊かでゆきとどいた教育を実現するため、法改正及び財源措置を講ぜられるよう強く要望する。

地域経済の振興のため、消費税増税に反対する請願

請願者 十日町民主商工会
会長 庭野 修
不採択

日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上にむけた施策の強化を求める請願

請願者 農民運動新潟県連合会
代表 町田 擴
採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 農林水産大臣

意見書要旨

農水省が提出した試算によると、完全自由化した場合、主要な農作物は軒並み壊滅的な打撃を受け、地域経済も崩壊してしまう。最近のバイオ燃料ブームを背景にした家畜飼料や食用油などの値上げを見るまでもなく、食料を輸入に頼る危うさは明らかである。国内生産を拡大して食料自給率を向上させるための施策を強めること。

アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める請願

請願者 農民運動新潟県連合会
代表 町田 擴
採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 農林水産大臣

意見書要旨

国民の食と安全を守るには、食肉処理施設の査察や全箱確認の継続は当然であり、ずさんな飼料規制をはじめとする同国のBSE対策が抜本的に改善されない限り、月齢制限の撤廃など輸入条件の緩和はとうてい認められない。毅然とした態度で同国に要求することである。

関東・甲信越、北陸地域各県の中で最低限となった、生活保護基準以下の「新潟県最低賃金」額の引き上げ・抜本改正を求める陳情

陳情者 中越地区労働組合総連合
代表者 馬場哲二
不採択

'09年国体バイアスロン大会の準備は大丈夫か

町長 県と内容を検討している

根津勝幸 議員

大会本番まで、冬期は1回しかない

問 '09年」ときめき新潟国体のバイアスロン競技がマウンテンパーク津南で開催されるが、本番まで冬期は1回しかなく、コースの決定など職員体制も今のままで大丈夫なのか。また、町中を巻き込んで盛り上げるには、どの様に考えるか。

町長 射場については公安委員会の許可が必要であり、2km範囲内において土地所有者の承諾を得なければならぬ。現在その調査を行っている。職員体制は、臨時職員1名増で3名。今後実行委員会を立ちあげ、PRに努める。



大勢の方に見て頂きたい

介護施設への入所基準は

問 中津地域にも介護施設ができ、近くのひとり暮らしのお年寄りも当然入所できるものと地域の方々は思っていたが、入所できなかった。入所基準について広く周知されているか。

町長 入所については、申請が必要であり、申請時に詳細に説明がされる。公平、公正に①要介護度②介護の必要性③入所待機期間などを点数化し、入所判定委員会に諮っている。

12名が登壇し質す

山間地の遊休農地や原林野等の再開発を

町長 山間地の振興と土地の有効活用に努める

樋口松雄 議員

山西地区・山間地の開発を

問 年々高齢化が進み、遊休農地や山林の荒廃が目立ち、1日も早い振興策が必要と思われる。地域の特性を生かし、山菜の植栽等による産業の振興を図れないか。
町長 山間地は遊休農地や山林原野の荒廃が目立つ。先人の苦労を無駄にせずに生かして行くべきだ。各関係機関と連携を図りながら、山菜、林産物等の開発、振興を図る。

2学期制実施

延期(凍結)について

問 2学期制の問題は3年前より教育委員会、同振興会、さらに、議会でも審議し研究され、2学期制移行を公表したにもかかわらず、ここに至り計画を変更し延期(凍結)の運びとなった。いずれ解消すると思うが、どの様な場合実施に踏み切るのか伺う。

教育長 昨年4月の教育委員会、教育振興会で2学期制を導入することに決定したが、PTA並びに保護者に通知し、理解を得たが、教育再生会議の動向、中教審の状況、また、関わり等、状況を見極め判断することとなった。関係者の意識改革に努め実施したい。



小学校生活最後のリコーダー演奏

人口問題は緊急の重要課題その対策は

町長 各施策等により努力したい

高橋孝男 議員

人口1万人を割らない方策を

問 人口減少が進み1万人を割らないため、現行の施策以外に具体的効果を上げる骨太の方策は何か。出雲崎町では町内外問わず、夫婦の一方が40歳以下で、中学生以下の子どもがいる世帯に安い宅地を提供し、新築後に100万円の特別支援で定住効果。津南でも推進しては。また、夫婦の一方が40歳以下で中学生以下の子どもがいる世帯数は。
町長 各施策を推進することと、それぞれの意見と提言を参考にしたい。本町では19年6月1日現在、中学生以下の

自主防災と地域防災について

問 まずは被災者にお見舞いを申し上げる。火災は初期消火が大事で、消防団員が日中不在のところに自主防災組織の積極的な推進と、当町の限界集落数は。また、最近の火災で役場のサイレンが故障し鳴らなかったが。
町長 自主防災組織は推進したい。役場にサイレンの設置義務はなく、他の方法で出火を伝達し消防活動を行った。当町の高齢者が2分の1以上を占める集落数は16集落。



未来に向かって笑顔で走れ

集落機能の低下 町の対応は

町長 全国的な現象で国も対策を考えている

大平謙一 議員

集落の高齢化は住民の不安の種になっている

問 集落機能再生策は

町長 農水省のトータルキャピタル報告書によると全国には13万5千の農業集落があるが、2020年には2万の農業集落が無くなる見通しを出している。農家戸数10戸以下の集落割合も現在の3割から5割へと増加すると予測。そのことを受けて農水省の研究會では新年度予算に向け、美しいふるさとづくり事業として、予算付けを目指している。報道された。地域集落機能の維持、再生にどう関わるべきか。しかし、反対に品目横断的対策など担い手中心であり、今までの農政の結果が小規模集落に影響を与えている。



集落による農道整備

町職員定年でも働ける再就職か定年延長か

問 天下りのない再就職は。
町長 課長職55歳定年時は再就職を斡旋した。現在はやっていない。公務員の再委任制度もあるが、当町では実施する予定はない。

津南病院歯科の公設民営化を

町長 大変病院運営が厳しい 研究の必要がある

▶▶▶ 藤ノ木 富有 議員



手際よく配食する中学生

問 公設の必要性は、老人保健診療に占める医療機関別割合では津南病院が約36%であり、お年寄りには病院の歯科を利用している人が多いから。

一方、町内には病院の他に4つの歯科医院があり、各々の診療方針に基づいて経営がなされている実態から、病院の歯科も経営は民間に委託してはどうか。

町長 病院の歯科は診療車を利用して受診する人や、入院中の人など利便性から存在意義も高い。一方、民間歯科医院も4つあり、人口減少のなか

公設と民営化の 必要性について

にあつて公立病院として歯科を維持しなくてもよいという声もあり、今後の検討課題だ。

県立中学校の配食は 県に応分の負担を

問 県立中等教育学校給食にかかる調理員の人件費等の経費は全て町費で賄っている。今後は漸次町立中学生より県立中学生が多くなり、6年後には43%対57%となることが予想される。県に応分の負担を求めるべきではないか。

教育長 開校時の約束で市町村負担方式がとられているが、将来の生徒数の状況を考えるに検討課題であり、近々、関係市町で県に申し入れをする。

信用保証制度見直しの影響は

町長 啓蒙し努力していく

▼▼▼ 吉野 徹 議員

町提案事業の進捗と計画は

中等校の通学の利便性と
利便性について

部分保証制度導入
の影響は

問 高齢化社会のなか町提案事業が進められているが、進捗状況と今後の計画は。

町長 19件の提案が示された。6月末に選定委員会を開催する。町づくりに貢献できる提案が実現できることを願う。

問 中等校の通学の利便性と既存の小中学校の統廃合は。

教育長 通学の不便さは察している。関係市町村の対応を願っている。小中学校の統廃合は検討委員会で検討中である。

問 本年10月施行される中小企業融資の信用保証制度見直しにより部分保証制度が導入される。

関係金融機関の資本率低下、債権管理コスト負担、損失補償のリスク等生じ、融資を望む事業所にも影響が生じると思われる。活用しやすい制度の創設や、金融機関との提携保証制度の創設は考えられないか。

町長 今回の制度見直しで融資の貸し渋りは生じないと思われる。中小企業者に対して融資等支障が起きないように啓蒙していく。



通学手段の確保を

靖国DVDを学校へ持ち込ませるな

教育長 現場に文書で徹底している

▶▶▶ 藤ノ木 浩子 議員



力いっぱい応援歌

審議なしでの後援 とりつけはおかしい

問 日本の侵略戦争を「自衛のため、アジア解放のための戦争」と美化する靖国DVDが、全国の学校現場で上映されようとしている。昨年の11月5日の上映に際し、町教育委員会は、内容も見ないで審議もせず後援するのは、町民の教育に責任を持つ教育委員会としてあってはならない。今後の対応をどうするのか。

教育長 後援してしまつたことについては、誠に申し訳なく深く陳謝する。二度とこのようないことがないよう、十分内容を吟味し返事をするよう話し合った。十日町青年会議所

には抗議をし、学校現場にはDVDを持ち込まれないように文書で徹底した。

問 新しい歴史教科書をつくる会の副会長だった高橋史朗氏講演の「親学のススメ」をどう考えているのか。

教育長 後援取り消しの処置をとつた。

問 文部科学省が研究委託事業としてDVDを採択したことは大問題だ。町として採用したことに對し、撤回と抗議の意志を伝えるべきだ。

教育長 文科省がお墨付きを与えたのかでないが、抗議をするのはいかがなものか。それぞれの立場が間違つたことにはものを言うことが大事。

德育の新たな教科化について

教育委員長

道徳教育は心の教育である

▼▼▼ 伊林 康男 議員

点数による 成績評価は

問 教育再生会議第2次報告では道徳教育を見直して、德育を新しく教科化したしたが、点数による成績評価は行わないと聞かすが、見解を。

教育委員長 新たな教科と位置づけ、点数化をしないのは道徳教育は心の教育であり、心を耕し、ルールの厳守、優しい心、郷土愛、協調性を育てることである。その為に心や意識を点数化することは容易でない。しかし、今後正式教科となると評価せざるを得なくなり、評価の基準は大変難しく、学校ごとに違いが出て、教育現場は困惑し多忙となつてくる。

家庭での躰、 家庭教育の現状

問 保護者は子の教育について第1義的責任があるが、家庭教育の現状を見て、今後どうあるべきか。

教育委員長 家庭は教育の原点である。基本的な生活習慣や感性などの基礎は家庭で培われなければならない。家庭の教育力は子どもに対する愛情の上に立つて保護者がある責任を自覚することから始まる。行政や企業は、保護者が家庭教育に責任を持たせるような環境づくりが重要である。



家庭での教育が不可欠

品目横断的経営安定対策の対応は

町長 地域農業の推進体を期待

▶▶▶ 涌井 幸一 議員



高品質・安定生産のため

魚沼コシは津南農業の基幹である

問 政府は戦後農政の転換と位置づけ、新たな農業助成制度を創設。将来も安定的に続けられる一定の要件を満たす認定農業者に限定した制度で平成19年度の加入申請手続きが4月から6月末日までとして受付中であるが、現在町の加入申請状況は。

町長 6月15日で加入申請者は116名、経営面積は350haで、加入率26.7%、内法人4社、所得特例は10名となっている。

国は加入率50%位の目標であるが、地域の立地条件があり本町としては初年度であり想定内としている。

今後の対応と推進体制は

問 今後の推進策は

町長 地域農業の担い手を中心とした政策誘導もあり益々その方向に進んでいくと思う。中山間地域の町村は農業政策だけでなく、地域の政策を含めた総合的な政策が必要であり、その様に進めている。

魚沼コシは農業経営に安定した所得が確保されている。確実に売れる米、品質、量。安定した産地づくりに集荷業者、生産者、指導機関が一体となって取り組む事が重要である。

多発した火災、消火活動に問題はなかったか

町長 対応については限界がある

▼▼▼ 五十嵐英教 議員

出動に問題はなかったか

問 南分署からの出動および、町消防団の出動が遅かったとの声を聞くがどうか。

町長 南分署からの報告では最初の通報が南分署の一般電話に入った。それが2時10分でのため119番にかけ直すよう通報者に指示し、本部からの指令が出たのが2時12分、現場到着2時17分、放水開始2時19分であり、分署対応はこれが限界である。

を申し上げると共に今後火災予防の広報はやっていく。先日、町から全戸配布した町民便利帳の内容を見ていただきたいし、お互いに気を付けていただきたい。



出動がないのがなにより

後期高齢者医療制度について

町長 県内事情の適合した運営を

▼▼▼ 大口 武 議員

診療報酬の定額制 命の差別ではないか

問 後期高齢者に対しての新たな医療制度であるが、当町の対象者数や保険料の概略を示されたい。

また、保険料が2年毎の改定で引き上げられる。現役世代と別建ての定額の診療報酬、老人保健ではなされなかった資格証の発行などについて見解を求めたい。

町長 来年4月の推計で対象者は2,640人程度と見込んでいる。保険料は年金から天引きだが、普通徴収者は推計で400人程度と見ている。保険料は当町では国民年金受給者が6割弱、1,500人程度と見ているが、この方々は1ヶ月応給割だけで平均3,



運動会でも大活躍の高齢者

100円だが、その7割軽減で900円程度。自営業者と同居の場合は3,100円。被用者の扶養の場合は5割軽減で1,500円程度になると見込んでいる。

高齢者の保険料引き上げは高齢者と現役世代の比率に合った負担割合になる。

診療報酬定額制は高齢者が安心して納得できる医療の提供と、それに呼応した対策が講じられることが重要である。

保険料の滞納による資格証は実情を詳細に把握し、出来る限り対応はしなければならぬと思っている。

町の防災意識は万全か

町長 自主防災組織を検討

▶▶▶ 大島 知美 議員

中心街での防災対応計画は

問 さる四月におきた町中心部の火災、隣にはガソリンスタンドがありあわや大惨事となる所であった。道路を隔てた家のエアコンのプラスチックが溶け火力の恐ろしさを感じたところでもある。中心部の方々より役場にサイレンがあるのに何故鳴らなかったとの意見もあった。

① 役場のサイレンは何故鳴らなかったのか。
② 中心部の火災、地震等の非難告知などの防災マニュアルは整備されているのか。

町長 役場のサイレンは火災ではあったが類焼の恐れもない事からサイレン・広報無線は使用しなかった。防災マニュアルについては平成11年に作成、配布をしたが、本年配布した町民便利帳の中で各地域の避難場所等が記載されているので活用していただきたい。更に、自主防災組織の組織化も計画し婦人・消防OB等の活用も検討する。

総務課長 防災計画については、本年見直しを計画している。国・県との整合性をとりながら、より詳細なマニュアルを作成し町民便利帳と一緒に保存し活用していただきたい。防災計画は夏頃完成予定である。



町防災訓練

雑感

4年間を

今期（平成15年11月～19年10月）最終号

厳しい時代のなか、この地に生きていこうとする人たちが、若者、子どもたちが希望と勇気を持てる町づくりを最重要課題として取り組んだ。時の流れの速さや変化に負けず、責任のある未来像（写真基本構想）を町民に明示し、意見を反映させる場づくりと地域戦略を考えながら半ばである。



草津 進

「農を以て立町の基と為す」自立津南がスタートした。現状を考えてみると、先人が自然と共存しながら生きてきた歴史、その心と知恵を考へるとき。短い期間に幾多の天災地変が。また、行財政も厳しい状況であり、町全ての組織が一体となり、新しい価値観の創出と活力ある発展を祈念する。



樋口松雄

4年間大勢の皆様から叱咤激励を頂き感謝しております。我々の在任中の報酬引き下げ案が否決されたことは、残念であった。我々自らも律するべきと考えていました。自律プランの議員報酬の引き上げと定数削減については、発言力が弱まるのではないかと懸念致すところである。



根津勝幸

私は、茶の間の意見を町政に生かすことを公約し選挙をしました。一般質問も毎回行って、住民の思っていることを反映したいと頑張ってきた4年間でしたが、解決できたことは少なく、反省し今後4年間の経験を生かしていきたいと思う。



大平謙一

初当選から1年が過ぎようとしております。津南町も自律を選択し、今までの良い面悪い面がはっきり出始めているように思われます。私は、時代は津南にあると確信し必ずや住みよい所になると思っております。残り少ない任期この事を信じ一生懸命努めてまいります。



大島知美

私は弱者いじめの政治に、怒りの気持ちでいっぱいです。だからこそ介護や障害者福祉教育や病院、豪雪、自立の町づくりでも町民の声を議会に必ず届けてきました。貧困と格差の広がり生活維持することを困難にしています。その苦難解決のためにこれからも頑張ります。



藤ノ木浩子



8月15.16日 集中豪雨被害



マウンテンパーク津南民間委託



グリーンピア津南購入民間貸付

2004
s
2005
(H17年度)

雑感

振り返って

～各議員より一言～ 掲載は議席順

この4年間全国的、特に新潟県は合併の県であった。津南町は自律の道を選んだ所であり自律宣言は歴史に残る1ページであった。昨年の町長選挙、4月の県議会議員選挙も心に残る所である。議会議員として各位の方々に大変お世話になりました。お礼申し上げ4年間の思い出と致します。



五十嵐英教

昨年の6月に突然町議補選に出馬することになり、今日に至っています。全議会で質問に立って参りました。中心的な考え方は町が活性化することであり、そのためには透明性が必要。若者の定着に全力。町外からも若者を。職場づくり。安心な医療、福祉。民間や県の力を取り込みたい。



高橋孝男

3町村の合併推進活動から始まった4年間です。国の三位一体改革、少子高齢化、自然災害等々歴史的な事柄が多発した期間でした。通して感じたことは、行政と町民の方々が互いに情報と能力を出し合うことで豊かで暖かい町ができるのではないか。4年間ありがとうございました。



富沢春江

改選後は自律に向けた町づくりのスタートでもあった。当初は3町村で合併との議論もあつたが住民アンケートの結果を基に自律に賛同した。更なる町の発展を願う。また、議会広報委員長として4年間、議会だより163号が全国奨励賞を頂いたことは苦勞の甲斐があつたと思う。



河田強一

早いもので4年間の任期が終わる。平成15年1月16日津南町は市町村合併をしないで自律を選択した。また、平成17年町制施行50周年記念式典が挙行され、町史に残る出来事に参加できました。



涌井幸一

当選証書を頂いた直後から3町村合併（津南、中里、松之山）を求める署名運動で全町を駆け回りました。また、議員定数2名削減に反対し、報酬5%カットを提案。結果は否決。「皆様の声に耳を傾ける姿勢」こそが私の活動の原点であり、多勢の方々とお話できた4年間でした。



藤ノ木富有



忘れまい中越地震



なじよもん建設



中学校給食棟

2003
s
2004
(H16年度)

農業施策の懇談会開催

産業建設常任委員長 吉野 徹

委員会レポート

4月19日町農業改良会議および、経営生産対策推進会議が開催されました。農業従事者の高齢化や減少により、田畑耕作の厳しい状況下で、効率のよい安定的農業経営が構築され、地域の実情にそった持続的農業の推進を図ることを目的とした会議です。出席者は高冷地センター、共済組合、土地改良区、普及センター、JA津南、農業委員会、各生産者組織、生活改善アドバイザーと産建委員会、事務局総勢53名の出席者でした。



アスパラ品種選抜（高冷地センター）

本年度から実施の「経営所得安定対策」担い手の育成、米対策、農地保全や農業全般に関わる各機関の説明を皮切りに、品目横断的経営安定対策の推進策。また、新制度3年目の中山間地直接支払いの状況や農地・水・環境保全対策の実施説明等資料を基に進められました。

各関係機関に於ける営農指導の実情や、生産基盤の拡大目標など、町基幹産業である農業について真剣な協議が行われました。

4年間を振り返って



伊林 康男

東の間の4年間であった。地域住民のため、地域振興のために何を成してきたかを、静かに瞑想するときに悔悟の念も些かあります。この4年間に皆さんから叱咤激励ご指導を頂いたことを基として、今後においても、地域、次世代のために誠心誠意、全力を傾注してまいります。



吉野 徹

台風と豪雨そして中越地震。災その後の大雪、異常までの暖冬、町政50周年を迎えた自律津南町。医療改革や中等校の開設、隣接市村との公益連盟提案事業の施行、限られた財源のなかで町民自ら改革に着手した始年であり、産建委員長として努めさせていただいた慌ただしい4年間でありました。



津端 眞一

あつという間の4年間。右も左もわからず手探り状態でありました。総文福祉、議会広報委員に所属し、町民の皆様方にご支援賜りながら、活動させていただき深く感謝いたします。初議会でマウンテンパークの質問に始まり、学校、病院と課題山積の今、残り精一杯努めさせていただきます。



村山 久一

今期4年間の最大の課題は人口の急激な減少、高齢化と財政の窮乏化で縮小を迫られる行政にどう対応するか、この自治体にも共通した悩みであった。当町に於いては行政が退場した領域を、民間の参入で埋め合わせる動きが広がりにつつある。

議員の改選にあたり、英知ある新人の参加を促したい。



大口 武

50数ヶ月好景気は続いているというが、庶民には少しも実感がない。政府の「三位一体の改革」による補助金カット、税源移譲、地方交付税の削減で町財政も大変。

住民は「医療制度改革」による負担増や納税通知を見てびくびく。自公政権の悪政の防波堤にと懸念だったのだが。



高橋 満男

この任期は県議協会会長、全国町村議長会理事として地方6団体の一翼を担う政策提言の場に参画させていただきましたことは、地方議員として本懐でありました。

今後も食料の自給率の改善を始め地球温暖化防止のため、農業の多面的機能の助長に努めながら産業の育成、都市との格差是正に取り組みます。

佐久市

『子育て支援都市宣言』を研修

総文福祉常任委員会 草津 進

総文福祉常任委員会では5月24、25日にかけて、子育て支援総合推進モデル市に指定を受けた長野県佐久市を視察しました。子どもを安心して生み育てることができる社会の構築を市の重要施策と位置づけ、働きながら子育てをしている方への生活支援として、市内14の小学校区全てに児童館の整備が進められていました。

平成18年3月23日「子育て支援都市」を宣言し、予算総額の12%を超える額が、子育て支援事業の推進にあてられていました。その効果として合計特殊出生率が上昇傾向に現れていました。

児童館運営事業の目的は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進することや学校週5日制の児童の受け皿として、働きながら子育てをする方の生活支援を行うことです。

平成17年度の事業実績は児童館11館の年間開館日数308日、768名の利用でした。津南町も少子化に伴う対策、学校、保育園等の施設利用を考慮する時期であり、参考となりました。



学校からまっすぐ児童館にやってくる子どもたち

交通弱者の足の確保

翌日は信州新町の町営バス運行について視察しました。年々バス利用者が減り、川中島バスが撤退したことで、町営によるバス運行で、住民の足の確保を図ったのです。町営バスは車両17台で、コミュニティバス7路線、スクールバス7路線、福祉バス8路線、通園バス2路線が動いています。運行は町内タクシー会社に民間委託し、経費の節減を図っていました。今後料金を一律200円にすることや、デマンドバスも検討することなどです。

2005
2006
(H18年度)



豪雪知名度日本一



秋山郷テレビ電話設置



民営化された物産館



シリーズ・町民の声
私さしと言

「キョロロロロ〜」

反里口 樋口貴幸さん



水見に行った時の話、勢いよく田んぼに流れ込む水を止め、立ち上がった瞬間「キョロロロロ〜」と他の鳥の鳴声をかき消すような、大きな鳴声。アカショウビンだ。本で見るとくちばしから足まで赤色。津南にも熱帯にでもいるような、面白い鳥がいるものだなあと、就農3年目にして思う今日この頃。小さい農家ながらも2年間全力でやってきた。守るべき家族のため今年も今まで以上に全力でやると心に決めて臨んだ3年目。3年目にして、鳥の鳴声を聞けるだけの余裕がほんの少し出てきたようだ。

鳥の鳴き声などは妻の影響。昨年結婚した妻は、日光で自然解説員として、戦場ヶ原周辺の自然の大きさを子供たちをはじめ多くの人々に伝えてきました。津南の自然、開発と整備は別の話。「自然」に手を加えることは「勢い」ではなく、「慎重」に進めることが絶対。森林セラピーに乗った、日本一の階段構想？うーん、議論することは良いけど…歌じゃないけど、新たに作るナンバー1よりも今あるべきものを利用したオンリー1を目指すべき状況では…？

なーんちゃって、かっこいいこと言いましたが、

「なんでもご相談を」

芦ヶ崎 内山恵美子さん



「相談支援センターすみれ」をよろしくお願ひします。
「みんなで支え合い、誰もが地域で自分らしく暮らせる町づくり」——津南町障害福祉計画の基本理念です。
すみれ工房では、昨年10月に町からの委託を受けて「相談支援センターすみれ」を開設しました。ここでは、障害者やそのご家族からの相談に応じて、福祉サービスの情報提供やサービス提供事業所の紹介、連絡調整など、さまざまなニーズへの支援を行います。

開設以来、施設退所後の住まいの紹介や就労先の開拓、病状が不安定な時のご家族の対応の仕方など、ご本人やご家族からのいろいろな相談がありました。
身体、知的、精神のいずれの傷害も問いませんので、お困りのことや疑問に思うこと、わからないことなどなんでもご相談下さい。
各関係機関の協力を得ながら支援ができればと願っています。



早いもので議会だよりの編集に携わって8年になるうとしています。
議会が決まったことが、町民の皆様が暮らしに関わる身近な問題として、注目して読んでいただけるよう編集に心がけて参りましたが、いかがだったでしょうか。今期最後の議会だよりとなります。私ども編集委員は、原稿の校正からレイアウト、写真撮影や町民の方への原稿依頼など一連の作業を自前で、大いに意見を交わしながら楽しく作業をしてきました。苦勞の一つは写真撮影でした。
先般全国議会報コンクールでいただいた奨励賞は思い出に残る作品となりました。今後も引き続き愛読いただきますよう、よろしくお願ひいたします。(浩子)

編集後記